

正 誤 表

頁	行	誤	正												
7	下1	菜苗	採苗												
8	第1表中	<table><tr><td>方</td><td>法</td></tr><tr><td colspan="2">3層の付着器の稚貝付着状況</td></tr><tr><td colspan="2">を調査した。</td></tr></table>	方	法	3層の付着器の稚貝付着状況		を調査した。		<table><tr><td>方</td><td>法</td></tr><tr><td colspan="2">3層の付着器の稚貝付着状況</td></tr><tr><td colspan="2">を調査した。</td></tr></table>	方	法	3層の付着器の稚貝付着状況		を調査した。	
方	法														
3層の付着器の稚貝付着状況															
を調査した。															
方	法														
3層の付着器の稚貝付着状況															
を調査した。															
17	上1	稚見	稚貝												
22	上4	川辺	川内												
27	上15	St. 2	St. i, 2												
29	第4図中	A: 外套膜	A: 外套膜外縁												
29	"	B: 外套膜外縁	B: 外套膜と殻の接着部												
34	第6表中	第6表 St.1.4. N=70 St.5.6.8.9 N=71	第6表 底質の違いによる殻崩壊出現率の比較												
		<table><tr><td></td><td>殻崩壊の分類</td><td>殻崩壊の分類</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table>		殻崩壊の分類	殻崩壊の分類				<table><tr><td>St.1.4.N=70</td><td>St.5.6.8.9.N=71</td></tr><tr><td>殻崩壊の分類</td><td>殻崩壊の分類</td></tr><tr><td></td><td></td></tr></table>	St.1.4.N=70	St.5.6.8.9.N=71	殻崩壊の分類	殻崩壊の分類		
	殻崩壊の分類	殻崩壊の分類													
St.1.4.N=70	St.5.6.8.9.N=71														
殻崩壊の分類	殻崩壊の分類														
34	下1	漁場管理を	漁場管理法を												
35	第9図中	↓放流時 ↑採捕時	↓放流 ↑採捕												
57	下3	水深約10以浅	水深約10m以浅												
58	第2図中	相成比率	組成比率												
60	下15	20m ²	20m												
60	下11	前回と	前回と												
68	上3	表面水温 底層水温 (m) (m)	表面水温 底層水温 (C) (C)												
69	上13	水深	水温												
77	上13	濾過し100μ	ろ過した100μ												
79	下8	致って	至って												
86	上3	第1図	第1図												
87	上4	第1回飼育	第1回飼育												
106	上3	(各種餌料生物の二枚貝類に対する餌料効果試験)	トル												
131	下3	厳寒期	厳寒期												
142	上14	ノリ等の	ノリ芽の												
142	上20	凌渌	凌渌												
144	上5	本式験	本試験												
145	上1	第1回	第1図												
145	下8	2	92												
151	下20	試験結果; 温度別培養	試験結果 温度別培養												

頁	行	誤	正
151	下1	成熟するまで時間が……	成熟するまでに時間が……
153	下5	正 常 ^常	正 常 ^常
161	上6	4 (^m) 1 5 7	4 (^{7 1}) 1 5 7
164	上3～4	コスジフシウナギ	コスジフシツナギ
189	上4	気温 ^気	水温 ^水
192	下1 2	1 4 図	第1 4 図
202	第4図の下に		(註) 数値は飽和カロメル電極に対する電位差。標準水素電極に対する電位差を求める場合には250～254を加える。
205	上15, 16, 18, 下6	蛇尾目 ^蛇	蛇尾綱 ^蛇
257	第3図の下に		(註) 数値は飽和カロメル電極に対する電位差。標準水素電極に対する電位差を求める場合には250～254を加える。
260	下2	以上 ^上	以下 ^下
262	上2	粒度、組成 ^度	粒度組成 ^度
267	上1 3	図1図 ^図	第1図 ^第
269	下8	1 4 % [%]	1 5 % [%]
270	下7	3 年貝 ^年	4 年貝 ^年
270	下2	1 7 % [%]	1 5 % [%]
272	第3図中	実戦 ^戦	実線 ^線
289	上7	水産試験所 ^所	水産試験場 ^場
290	上10～11	なっているの ^の	なっているの ^の
290	上1 4	(1 ^m ³当り)	(1 ^m ²当り)
292	上 8	舟橋晶市氏、舟橋力男氏 ^氏	船橋晶市氏、船橋力男氏 ^氏
297	上1 7	0.7 ⁰	1.0 ¹
313	下1 2、4	Marire ^{ri}	Marine ^{ri}
320	下1 3	海定形状 ^定	海底形状 ^底
320	下3	距岩 ^距	距岸 ^岸
326	下7	起伏 ^起	起伏 ^起
330	下2	凍結 結 ^結	凍結 " ^結
333	上1 1	歩留は、飼育開始 ^始	歩留は、取上げ生残個体で飼育開始 ^始
336	上 2	ロガシラガレイ ^ガ	シラガレイ ^シ
346	第3図たて軸	長 (cm) ^長	体長 (cm) ^体
348	第1表の註	計算 ^計	計数 ^計
368	下1 4	30 個～40 個 (× 100)	(× 100) 30 個～40 個